



関西学院大学理工学部50周年記念シンポジウム

「人のいのちと環境」-生活をよりよいものにするための自然科学-

いまから50年前、関西学院に理学部が開設されたのは、人類史上初めての人工衛星スプートニクの打ち上げに象徴されるように、自然科学の発展と人間社会への貢献に対する機運と期待が世界的に高まった時代でした。この50年を振り返ると、自然科学は予想を超えるスピードとスケールで進歩を成し遂げたといえます。理学部は物理学科と化学科の2学科で発足し、自然科学の基礎を研究・教育する学部として順調に発展してきましたが、自然科学が私たちの生活に幅広く応用される時代を反映して理学部は理工学部に拡充され、社会のニーズに応じて情報科学科と生命科学科が設置されました。現在はさらに数理科学科と人間システム工学科を加えた6学科体制になっています。その間、質の高い研究成果を発信すると共に、国内のみならず世界で活躍する多くの卒業生を輩出しています。今回は、人類の未来を支えるサイエンス・テクノロジーと関西学院大学理工学部の未来を重ね合わせながら、パネリストの方々、そして皆様と一緒に見定めて行きたいと思えます。

プログラム

13:30~13:40

開会挨拶 / 今岡 進 理工学部長

13:40~14:40

基調講演 / 中井 直正 氏 (筑波大学教授、専攻は電波天文学)

「自然科学と人間」

我々の住む宇宙(自然界)はなぜ存在し、どのようになっているかを知りたい、という人間が生来持っている知的探究心や知的好奇心に基づく自然科学の探究の意義や社会とのかかわりを一緒に考え、問題提起を行います。

15:00~17:00

パネルディスカッション

この50年間に巣立っていったOBやこの学部と関連の深いパネリストと一緒に、自然科学と人間社会とのかかわりについて「人のいのちと環境」をテーマにディスカッションいたします。

第1部: 各パネリストの専門分野について(スライドを用いて)発表していただきます。

第2部: 今後期待される自然科学の役割や代替エネルギーなどについて、トピック別にディベートが行われます。

各パネリスト・コーディネーターの方々のプロフィール

中井 直正 ■ 筑波大学大学院数理物質科学研究科教授 電波天文学

1980年関西学院大学理学部物理学科卒業。1982年名古屋大学大学院理学研究科修士課程修了。1985年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。1997年9月国立天文台電波天文学研究系教授。2002年4月国立天文台野辺山宇宙電波観測所長、2004年4月より現職。1996年仁科記念賞、2008年日本学士院賞受賞。研究テーマは銀河の構造と進化、ブラックホールの観測的研究。

村尾 信尚 ■ 関西学院大学教授、「NEWS ZERO」(日本テレビ系列) メーンキャスター

1955年岐阜県高山市生まれ。1978年一橋大学経済学部を卒業、大蔵省に入省。主計局主計官、財務省理財局国債課長、環境省総合環境政策局総務課長を経て、2002年末退官。2003年10月より関西学院大学教授。2006年10月より「NEWS ZERO」(日本テレビ系列) メーンキャスター。著書に「役所は変わる。もしあなたが望むなら」(2001年、淡交社)、「行政」を変える! (2004年、講談社現代新書)、「日本を変えるプランB」(責任編集、2005年、関西学院大学出版会)などがある。

若山 照彦 ■ 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター・チームリーダー 生殖工学

1990年茨城大学農学部畜産学科卒業。1996年東京大学大学院博士課程修了、博士(農学)取得。ハワイ大学留学の1998年にクローンマウスの作出に世界で初めて成功し、助教授に就任。その後ロッキーフエラー大学助教授などを経て2001年より現職。2004年から2010年まで関西学院大学客員教授を兼任。2009年日本学術振興会賞および日本学士院奨励賞、2010年文部科学大臣表彰受賞。現在クローン技術の改善を主な研究テーマとしている。

林 真 ■ 財団法人食品農薬安全性評価センター・センター長 遺伝毒性学

1970年関西学院大学理学部化学科卒業。1972年に同理学研究科修士課程を修了後、イスラエルワズマン研究所に2年間留学。帰国後関西学院大学理学研究科博士課程、実験実習指導補

佐を務めた後、現在の国立医薬品食品衛生研究所に入所。以後リヨン国際癌研究機構に3ヶ月、ヘルシンキ労働衛生研究所に1年間客員研究員としての勤務後、1999年より変異遺伝部長を務める。2008年の定年退官後現職に就く。食品安全委員会専門委員等、多くの安全性評価に携わる。

前田 美子 ■ 大阪女学院大学国際・英語学部准教授 国際・比較教育学

1985年関西学院大学理学部化学科卒業。松蔭中学・高校で理科教諭として勤務。3年間休職し、青年海外協力隊員としてケニアの中学校で理科・数学を教える。その後、ロンドン大学教育研究所(M. A. 取得)、大阪大学大学院人間科学研究科(修士号取得)、香港大学(Ph. D. 取得)で教育分野の国際協力について学ぶ。JICAよりウガンダやカンボジアに教育アドバイザーとして派遣される。カンボジア教育省より優れた教育協力業績に対し感謝状を授与される。2007年より現職。

佐藤 英俊 ■ 関西学院大学理工学部准教授 分光医療工学

1992年関西学院大学理学部化学科卒業。1997年同大学院博士課程修了、理学博士。1997年より(独)理化学研究所中央研究所研究ユニットリーダーなどを経て、2009年4月より現職。生命現象を生きた細胞や動物体内で、あるがままの状態で解析する分析機器・技術を開発している。同技術の基礎研究応用から医療や環境計測への実用化まで幅広く研究を進め、生命科学、医学とエンジニアリングの複合領域の発展に貢献することを目指しています。

高畑 由起夫 ■ 関西学院大学総合政策学部 生態学、自然人類学、霊長類学

1976年京都大学理学部卒、同大学院修了、理学博士。国際協力事業団(当時)派遣専門家として、タンザニア共和国で動物保護ならびに研究に従事。京都大学理学部専任講師などを経て、1996年関西学院大学総合政策学部就任。研究テーマは霊長類の行動生態学(ニホンザル、チンパンジー、ワオキツネザル等の社会構造や繁殖生態)。学部では自然人類学・生態学をベースに自然環境論、ヒューマン・エコロジー等を担当。

アクセス

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号

※右記、理工学部のあるキャンパスとは異なりますので、お間違えないようにお願いします。
※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。



| お問い合わせ先 |

関西学院大学 理工学部

〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/>

tel.079-565-8300 fax.079-565-8454